

「歴史講演会 関ヶ原の戦いの真実を探る」を開催しました

平成28年12月3日、講師に浅井能延さんをお迎えして、「歴史講演会 関ヶ原の戦いの真実を探る」の講座を開催しました。

戦国時代を舞台にしたNHK大河ドラマ「真田丸」の放送期間中の開催ということもあり、約100名の受講生に御参加いただきました。



浅井さんの見解によると、映画、テレビ、小説で知られている内容は、関ヶ原の戦いから50年、100年以上後に書かれた戦記物に基づいているようで、近年発見された、戦いの直後に書かれた手紙や日記等の一次史料*には、戦いが始まった時間などについて、大きく見直す内容が記されているそうです。

今回は、それらの史料や、浅井さんご自身が、関ヶ原の古戦場を探索した実地見聞を基に、「歴史講演会 関ヶ原の戦いの真実を探る」と題した講演会を企画されました。

*注) 関ヶ原の戦いに関係した武将が発給した書状など



～豊臣秀吉の朝鮮出兵である「文禄・慶長の役」により、文治派である石田三成等と、武断派である加藤清正等が対立し、二派の間に生じた溝は修復できないほど深いものとなった。秀吉在命のうちは表面化しなかったが、秀吉死亡後は対立が顕著になり、後の関ヶ原の戦いに結びついていく事となる～浅井さんの、これまでの研究の成果を発表されました。

講座終了後は、熱心な歴史ファンの質問にも丁寧にご答えおられました。

歴史ミステリーは、多くの人を魅了します。歴史好きな方も、そうじゃない方も、とても有意義な時間を過ごすことができました。